

姫路市下水道事業経営戦略 令和6年度経営指標の評価

施策目標 取組項目	令和6年度の取り組み		関連業務指標等			
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R6目標	R6実績	達成度
1 経営基盤の強化						
(1) 組織の活性化と人材の育成	- 兵庫県まちづくり技術センター等の主催する技術系研修への参加（継続） - 局内勉強会「ひめ塾」の開催（継続） 【ひめ塾開催回数と参加人数（延べ）】 ※下水道事業関係 - 令和6年度（8回）・・・406人	- 専門技術、知識の獲得 - 局内外での人材交流	—			○
(2) 効率的な組織の整備	街路、道路、区画整理部局等との施工工事事前調整会議を通じた合併施工の推進（継続）	合併施工による工事費の削減及び工期短縮	—			○
	水道料金、下水道使用料の検針、徴収等事務の一本化（継続）	納付書発行、収納事務などの効率化	—			○
	給水装置（新設・改造）設備及び宅内排水設備の検査のうち、双方設備の完成が同時期のものは同時検査を実施（継続） R6 検査総数2,096件 うち同時検査1,331件	検査に要する職員の時間、移動にかかる燃料費などを削減	—			○
(3) 定員管理の推進	- 中部析水苑運転管理業務委託の包括的民間委託（R4.12～R7.11） - 家島浄化センター、清水苑運転管理業務委託の包括的民間委託（2期目）（R4.4～R7.3） - 下水道管路施設包括的維持管理等業務委託（2期目）（R6.4～R9.3）	定員管理の適正化	—			○
(4) 職員の給与の適正化	- 国家公務員の一般職員の給与改定に準じた給与改定の実施（R6年度は12月に実施） - 毎月6日(7,8月は8日)以上の定時退庁日の勤奨（継続）	- 職員のワークライフバランスの実現 - 時間外手当の削減	—			○
(5) 民間の資金・ノウハウの活用	- 中部析水苑運転管理業務委託の包括的民間委託（R4.12～R7.11） - 家島浄化センター、清水苑運転管理業務委託の包括的民間委託（2期目）（R4.4～R7.3） - 下水道管路施設包括的維持管理等業務委託（2期目）（R6.4～R9.3）	業務の効率化	—			○
(6) 処理区域内での早期水洗化の促進	- 業務委託による水洗化指導（継続） R6：指導 394件 → 水洗化 17件 - 水洗便所改造に対する資金貸付（継続） 1設備につき450,000円以内、30ヶ月均等払い R6：0件（R3～R5：計 5件）	衛生環境の向上	—			○

施策目標 取組項目	令和6年度の取り組み		関連業務指標等			
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R6目標	R6実績	達成度
1 経営基盤の強化						
(7) 収納率の向上	【未収金対策】 ・電話催告及び催告書類の発送 ・訪問徴収、納付指導の実施（休日訪問指導を含む） R6実績（納付再開件数） 下水道使用料 18件 受益者負担金 9件 計 27件 【債権移管】 ・納税課へ債権移管を依頼 R6実績（納付再開件数） 下水道使用料 3件 【井戸水使用水量の適正な把握】 ・世帯人数調査による井戸水使用状況の把握 ・世帯人数の変更に伴う認定水量の変更 R6実績 対象数：2,044件（うち変更：136件）	・収納率の向上 ・下水道使用料賦課の公平性の確保	【下水道使用料収納率】 令和6年度収納率 【受益者負担金】 令和6 年度収納率	【下水道使用料収 納率】 99.8% 【受益者負担金】 100%	【下水道使用料収 納率】 99.3% （R5：99.3%） 【受益者負担金】 99.9% （R5：99.8%）	△
(8) 資産の有効活用等	・太陽光発電売電収入 R6 28,640千円 ・財産目的外使用料（東部処理場の土地等） R6 18,620千円	・未利用資産の有効活用による収入増	—			○
(9) 資金管理・調達に関する取組	R6 借入47.2億円 元金均等方式 償還91.5億円	・企業債残高の減少による支払利息の減	—			○
(10) 不明水対策	・AIによる音響データを用いた雨天時侵入水発生エリアの絞り込み ・老朽化対策としての管更生 ○TVカメラ調査延長 R6 3.5km ○管渠更生延長 R6 2.2km	・不明水対策経費の削減 ・老朽化した下水道管の早期発見 ・老朽管による陥没事故等の予防 ・有収率の向上	有収率（%）	68.4% （R元実績）以上	66.7% （R5：65.6%）	△

施策目標 取組項目	令和6年度の取り組み		関連業務指標等			
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R6目標	R6実績	達成度
1 経営基盤の強化						
(11) その他経営基盤強化の取組	①前処理場等に係る国、県への要望 R5～ 県補助金（皮革関係） 補助対象範囲拡大→市川水系追加 R6上記補助金収入額 59,224千円	・国、県補助金の有効活用による収入増	—			◎
	②下水道資源の再利用 【汚泥の有効活用】 ・下水汚泥乾燥肥料「いえしまのめぐみ」 R4事業仕分けで事業中止 →物価高騰による肥料値上がりを受け、 R5に事業再開（無料配布） R6生産量：4,269kg	・下水汚泥の有効活用及び汚泥処分費の削減 R6効果額 75.9円/kg × 4,269kg ÷ 324千円 （汚泥処分費用の削減）	—			○
	②下水道資源の再利用 【再生水の有効活用】 ・下水処理を行った後の再生水を販売 中部衛生センター、大塩ゴルフ場 他 R6収入額 6,979千円	・再生水の有効活用及び収入増	—			○
	②下水道資源の再利用 【下水熱の利用等についての研究】 ・セミナー「下水熱利用の基本」への参加による事業スキーム、導入設備の実例等の情報収集（継続） ・下水熱広域ポテンシャルマップの公表（継続）	・将来的な下水熱利用設備導入に向けた検討 ・関心のある方への情報提供	—			○
	③入札手続き等の適正化 【下水道施設等での電力入札の実施】 R6実績 入札を実施 → 不調	参考（経費削減額） R3 約2,828万円 R4 約2,032万円 R5 約2,062万円	—			○
	④情報発信に関する事項 ・新たな情報発信検討会を開催（年8回） ・姫路市上下水道局広報誌「MIZ! vol.2、vol.3」の発行（年2回） ・動画「姫路市上下水道局の現状」、「上下水道料金の改定について」の制作（2回） ・施設見学や研修を行う「みっす隊」の実施（1回） ・下水道啓発作品コンクールへの出展作品の募集 ・マンホールカードの配布	・下水道への興味・理解促進に寄与	—			○
	⑤情報通信技術の活用 ・水道、下水道企業会計システムの統合 業者決定、システム構築中（～R7） （R8年度本稼働予定） ・下水道管路情報の電子閲覧（Web公開）（R4.7～）	・サーバーの管理や調達、システム改修等に要する経費の削減 ・職員の負担軽減 ・市民サービスの向上 ・利用者の負担軽減	—			○

施策目標 取組項目	令和6年度の取り組み		関連業務指標等			
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R6目標	R6実績	達成度
1 経営基盤の強化						
(11) その他経営基盤強化の取組	⑥流入水量、水質変化に合わせた下水処理場運転管理の変更 ・東部処理場の将来構想について検討 高コストの「酸素活性汚泥法」から低コストの「標準活性汚泥法」へ処理方法を切り替える検討（R4～継続）	・（実現すれば）維持管理経費の削減	—			○
	⑦下水放流水に含まれる栄養塩類の能動的管理の取組 ・豊かな瀬戸内海の再生に向け、栄養塩類管理計画（R4.10 県策定）に基づく下記下水処理場での栄養塩管理運転 家島浄化センター、大的析水苑、中部析水苑、東部析水苑	・栄養塩類（全窒素）供給による瀬戸内海の「豊かで美しい里海」としての再生 ・処理経費の削減（定量化は困難）	—			○
	⑧その他 ・揖保川流域下水道促進協議会の開催（年1回） ・兵庫西流域汚泥処理事業会議への参加（年2回） →兵庫県から決算、事業計画等の報告を受け、構成市町（たつの、太子、宍粟）を交えた意見交換を行い、事業の適正な実施を要望	・流域下水道事業の適正な執行	—			○
2 投資の合理化						
(1) 計画的な投資と長寿命化	ストックマネジメント計画に基づく投資事業 ・高木川西前処理場脱臭設備他改築工事（耐用年数10年、経過年数38年） ・東部処理場自家発電設備改築工事実施設計委託（耐用年数15年、経過年数41年） ・西広畑ポンプ場改築設計委託（耐用年数15年、経過年数39年） 等	・資産の長寿命化及び計画的な投資による経費削減	—			○
(2) 民間の資金・ノウハウの活用	・PFIについては、既存施設に合わせた単純更新になり、民間での裁量の余地がないため、対象案件なし ・WPPP対象事業導入可能性調査（香寺、揖保川処理区） →揖保川処理区で導入に向けて準備（R7～）		—			○
(3) 新技術の活用	・高効率型電動機等の採用	・使用電力量の削減（環境負荷低減と経費削減）	—			○
(4) 日本下水道事業団への設計、工事委託	・技術的難易度が高い工事において、日本下水道事業団へ設計及び工事を委託 ・八家川第五ポンプ場建設工事（土木・建築）（R2～R6） ・八家川第五ポンプ場建設工事（機械・電気）（R5～R6） ・大塩ポンプ場建設工事（土木・建築）（R1～R7） ・大塩ポンプ場建設工事（機械・電気）（R5～R7） ・中部終末処理場の実施設計（R5～R6）	・職員では対応が難しい工事の実施と綿密な施工管理 ・技術職員不足の補填	—			○

施策目標 取組項目	令和6年度の取り組み		関連業務指標等			
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R6目標	R6実績	達成度
3 危機管理体制の強化						
(1) 危機管理等の体制整備	・計画に基づく訓練の実施 ①安否確認訓練（年1回）・・・約200人 ②参集訓練（年1回）・・・約160人 ③情報伝達訓練（年1回）・・・約12人 ④高砂市との合同訓練（年1回）・・・各市4人ずつ	・事故対応への迅速化、的確な対応力の強化	—			○
(2) 施設の耐震化	・耐震診断 中部処理場、大塩処理場（沈砂池ポンプ棟）→R7繰越（継続実施）のため診断結果未 ・耐震補強工事実施設計 上菅処理場→R7繰越（継続実施） ・耐震補強工事 揖保川第一ポンプ場→R7繰越（継続実施）	・施設耐震性の確保	—			○
(3) 公共用水域の水質保全	①定期的な水質検査 ・放流水等分析業務委託 ・流入水、処理工程水の定期的水質検査 →薬品投与等の運転管理に反映 ・水質異常時の臨時検査の実施 ②水質検査機器の更新 ③事業場への立入検査	・公共用水域の水質保全に寄与	—			○
4 投資計画						
(1) 老朽化対策事業	老朽化対策事業（R6） ・経営戦略 約 49.6億円 ・実績 約 32.1億円 OTVカメラ調査延長 R6：3.5km O管渠更生延長 R6 2.2km	・老朽管による陥没事故等の予防 ・有収率の向上	有形固定資産減価償却率（％）	28.0	37.1 (R5：35.3)	△
			管渠老朽化率（％）	8.0	7.1 (R5：7.3)	○
			管渠改善率（％）	0.25	0.07 (R5：0.17)	△
(2) 浸水対策事業	・雨水管理総合計画に基づく投資事業 （設計）大日増補幹線、東辻井幹線、御着 雨水貯留施設 等 （工事）八家川第五ポンプ場、大塩ポンプ 場、福泊調整池、広畑区才地内 （雨水）下水道 等 （協議）八家川第六ポンプ場、東山排水 ポンプ場 ・雨水貯留タンク設置助成 R6実績：29件	・豪雨時の浸水リスクの低減	—			○

施策目標 取組項目	令和6年度の取り組み		関連業務指標等			
	主な取り組み内容	効果	指標名称	R6目標	R6実績	達成度
4 投資計画						
(3) コミュニティ・プラントと集落排水処理施設の公共下水道への統廃合事業	・コミュニティ・プラントと農業集落排水処理施設を公共下水道へ接続（継続） 生活排水処理施設数（事業開始当初40か所） R6：25か所（下水7、流域1、集排11、コミプラ6） →R17：8か所（最終）	・施設廃止に伴う維持管理経費の削減				○
5 その他						
(1) 経営の健全性の確保	①経営懇話会の開催 R6：3回（7月、8月、11月） 新経営戦略の策定に係る意見聴取など	・経営戦略策定における市民意見反映	経常収支比率（％）	100.0	100.0	○
			累積欠損金比率	-	-	○
			流動比率（％）	36.4	52.6	○
			企業債残高対事業規模比率（％）	573	524	○
			経費回収率（％）	100	97.7	△
			汚水処理原価（円/㎡）	177.5	168.5	○
			施設利用率（％）	56.7	61.5	○
			水洗化率（％）	97.9	98.2	○
(参考)		経費充足率	84.2	84.3	○	